

<第3回：リハーサル～打ち上げ>

11/27 10 日目



全体ミーティングの後、打ち上げカウントダウンのリハーサルが行われました。私たち観測機班はペイロード作業棟でテレメトリの確認を行いました。この棟は射場から数キロ離れていて窓も無いに等しいので、打ち上げの様子を全く見るのがなさそうです。

11/28 11 日目



本日より 12/8 までの打ち上げ期間が始まりました。ウインドは毎日 7-11 時(UT)でカウントダウンは3時間前から始まるため、観測機班は現地時間で5時から作業棟に集合しました。朝食抜きを覚悟していたら、しっかりと朝食休憩がありました。打ち上げ条件は以下の4つで、最低条件は2と4になります。

- 1) Clear sky and cusp aurora placed over the nominal trajectory.
- 2) HF radar cusp backscatter (220 ms-1 Doppler spectral broadening) straddles over the nominal trajectory above 200 km altitude.
- 3) The equatorward edge of HF cusp activity should be south of the apogee.
- 4) EISCAT Svalbard radar sees enhanced F2 region electron densities and or flow shears.

なお、本日の打ち上げは見送られました。